# Vevo2100 ログファイル出力方法

2015/1/30　改訂 2 版

◆はじめに

Vevo2100 をご使用中に不具合が発生した場合、その詳細情報を把握させて頂くため、弊社へログファイルの提供をお願いしております。
以下に Vevo2100 システム本体での、ログファイル出力方法をご案内させて頂きます。
なお、強制終了等のエラーが発生しますと、通常は自動でエラー時のログファイル（以下、エラーログと記載します）が保存されます。
しかし、システムがエラーと認識できていない場合においては、エラーログが保存されません。
（例：サブシステムのイニシャライズに失敗しエラーとなるが、その後も正常にシステムが動作し続ける場合等）
後者の場合は、保存されていない実行中のログファイル（以下、実行ログと記載します）の出力方法をお試しください。

① エラーログを出力（外部メディアに書き出し）する

1. 通常通り Vevo2100 システムを起動します

2. USB メモリ等の外部メディアを接続しておきます

3. Study Browser 画面（イニシャライズ完了後のトップ画面）上部の歯車のアイコンをクリックするか、キーボードの[Pref]キーを押して、Preference 画面に移行させます（図 1 参照）

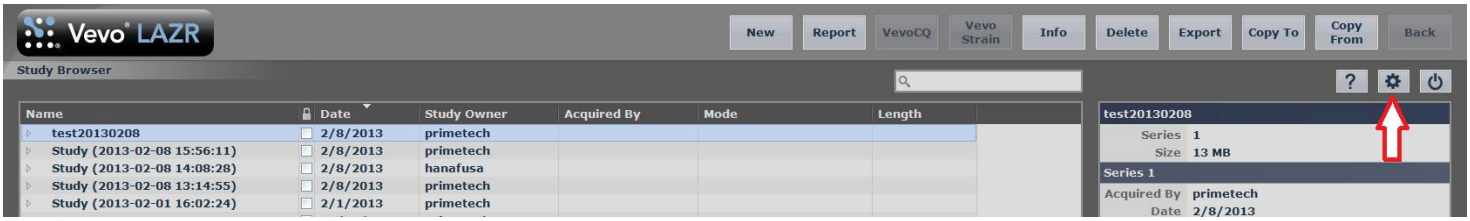


図 1　Study Browser 画面

4. Preference 画面の Maintenance タブにある System Log のエリアに、保存されているエラーログが一覧表示されます。この中からエラーが発生した日時のファイル等、出力させるファイルを選択するか、不明な場合は全てのファイルを選択し、Export ボタンをクリックします（図 2 参照）
   全て、あるいは複数のファイルを Export すると、1 つのファイルに圧縮されます。
   ファイル名は以下のような形式です：
   SystemLog(20xx-0x-28T151931).cab

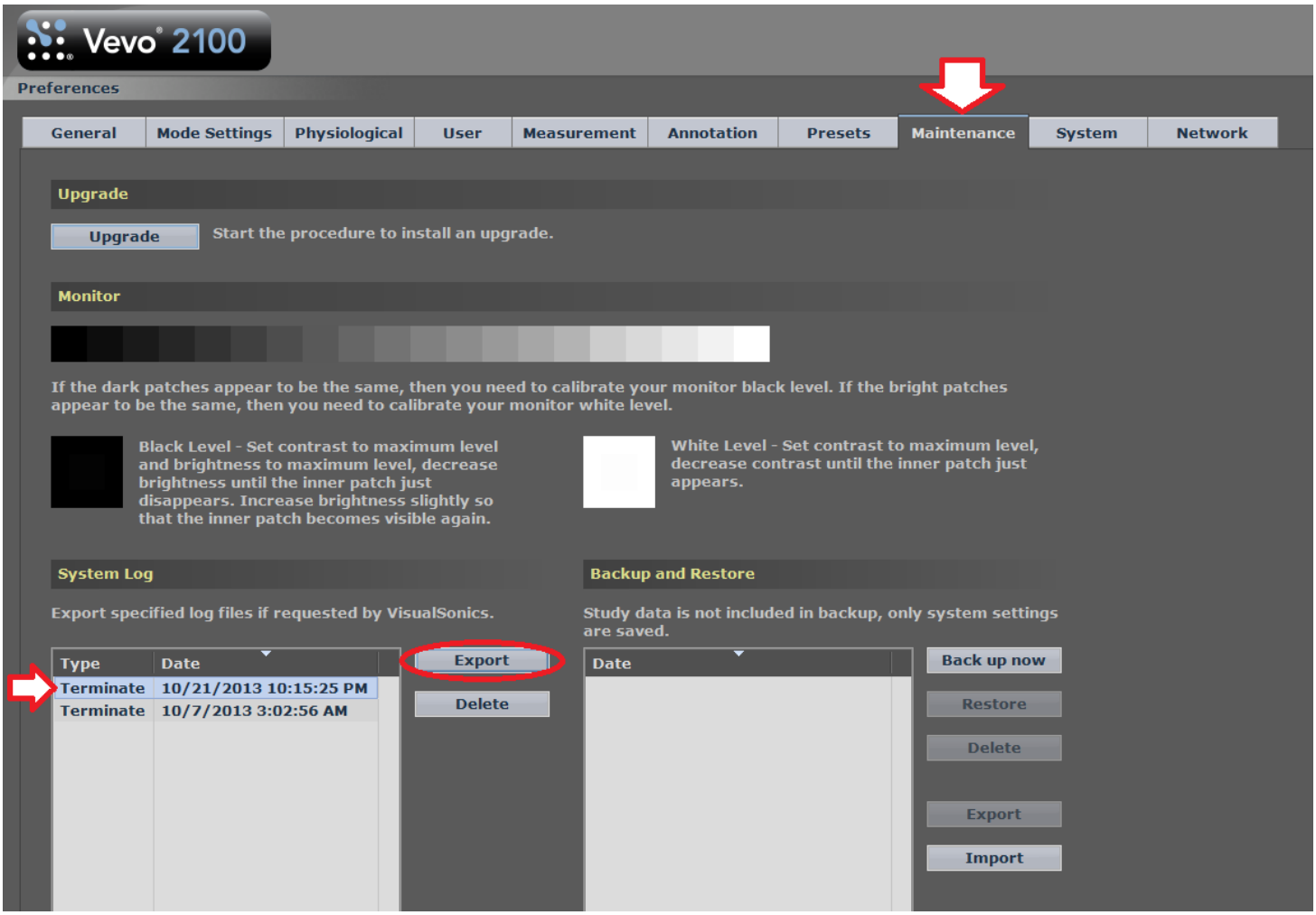


図 2　Preference 画面（Maintenance タブ）

5. USB メモリ等の外部メディアを出力先に指定し、保存してください

（注：以上の方法はエラーログとして保存されている場合にのみ有効です）

② 実行ログを出力（外部メディアに書き出し）する

エラーログ（異常終了）として保存されていない通常終了ログ（Exit ログ）や、現在進行中のログを保存するには、以下の手順を実行してください。

1. 通常通り Vevo2100 システムを起動します

2. USB メモリ等の外部メディアを接続しておきます

3. Study Browser 画面（イニシャライズ完了後のトップ画面）にて、キーボードの Ctrl+Alt+L を同時に押します

4. 図 3 のようなログビューワーが起動します

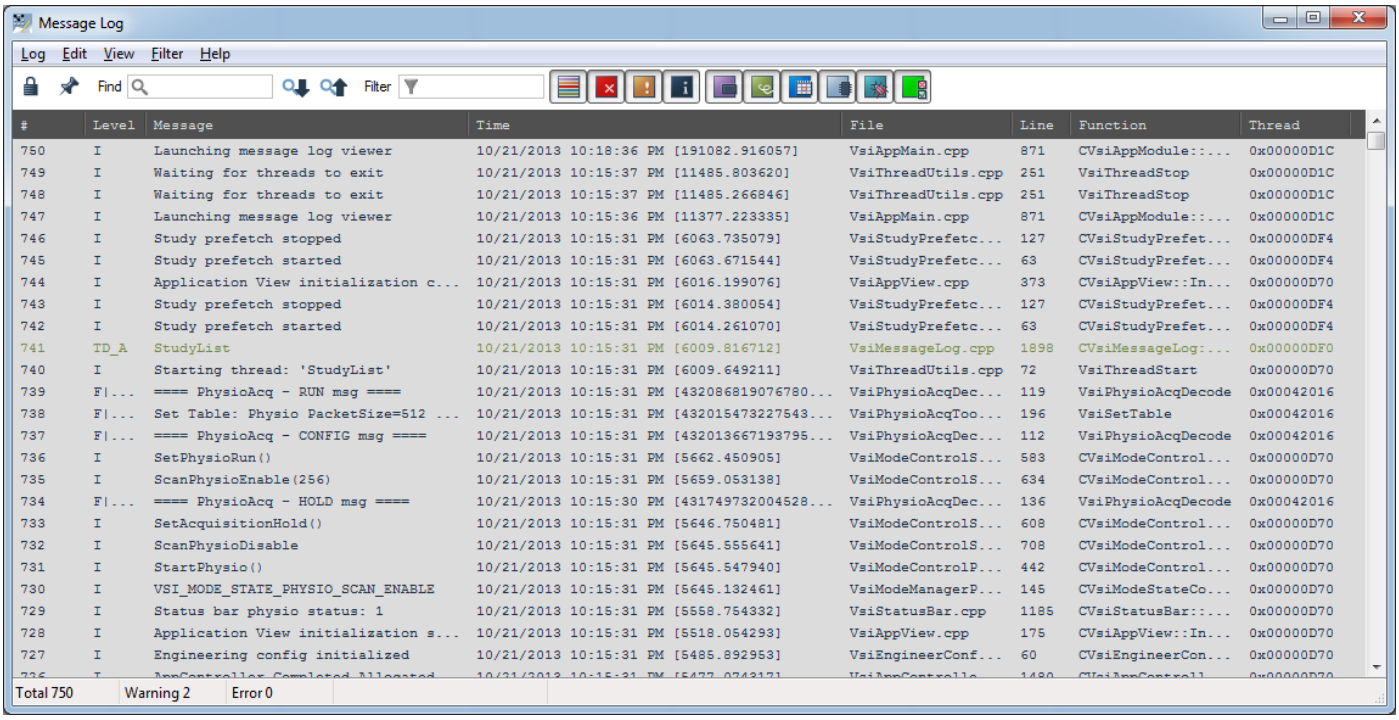


図 3　ログビューワー

5.　左上のファイルメニューから「Log」→「Save As」もしくは「Manage Archives」をクリックします（図 4 参照）

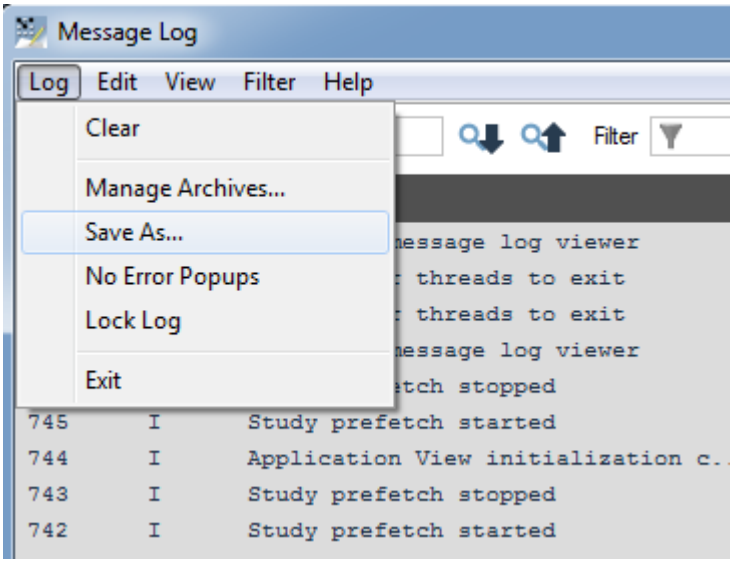


図 4　ファイルメニュー

6.　「Save As」を選択すると、現在進行中のログに名前を付けて保存できます

7.　「Manage Archives」を選択すると、保存されている全て（エラー終了、通常終了を含む）のログを選択して保存できます

8.　それぞれ USB メモリ等の外部メディアを出力先に指定し、保存してください

以上

お問い合わせはこちらまで：

プライムテック株式会社
【本社】〒112-0002 東京都文京区小石川 1-3-25 小石川大国ビル 2F
Phone:03-3816-0851（代表） Fax:03-3814-5080
【大阪営業所】〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-12-4 第 2 江坂ソリトン 9F
Phone:06-6310-8077（代表） Fax :06-6310-8081
E-Mail: support@primetech.co.jp URL:http://www.primetech.co.jp/